

編 集 後 記

生涯教育講座に島根大学医学部から2編寄稿いただきました。まず環境予防医学の山崎先生の「野菜に多く含まれるケルセチンの生活習慣病予防効果」では、ケルセチンとその配糖体である Q3MG が動脈硬化、肥満の改善に有効であることなど成果の一端を示され、県内産野菜の6次産業化等、地域貢献に結びつく研究と考えられます。脳神経外科学の秋山先生の「閉塞性脳血管障害の最近の話題」では、TIA の重要性と、その早期診断に役立つ ABCD² スコアの紹介、急性脳動脈閉塞に対して特殊なカテーテルを用いた血栓回収療法、頸動脈あるいは頭蓋内血管のアテローム狭窄症に対するステント治療など最近のトピックスが解説されています。梗塞を含む脳卒中の死亡率は、治療の進歩により低下していますが、身体機能と高次機能の障害が残存する症例が多く、包括的ケアにおいて大きな課題となっているのは周知の通りです。臨床・研究の領域では、7編の臨床研究あるいは症例報告が投稿されました。いずれも興味深い論文ですが、特に島根大学泌尿器科の三井先生の臨床研究は、内シャント造設術時に ICG 蛍光造影法を活用するもので、新たに開発された HyperEye Medical System を用いて観察することにより、血管と周囲組織との関係も明瞭となるなどメリットも多く、このシステムの適応拡大が期待されます。

ある報告では、臨床医学の主要な雑誌に掲載された論文数は、過去数年の間に、韓国、中国が2倍以上に増加している中、日本は激減しており、また別の県別の報告では島根県は下位に低迷しています。若手医師の皆様には島根医学を論文作成のトレーニングに活用いただきたいと思います。

(M. I)

島根医学編集委員

岩本正敬， 貴谷 光， 秦 公平， 児玉和夫， 葛尾信弘，
森本紀彦， 浅野博雄， 木下芳一， 佐藤比登美， 井川幹夫，
中山健吾， 徳島 武

島 根 医 学

平成25年6月30日発行

発行者	島 根 県 医 師 会
編 集	益田市乙吉町 編集者 岩本正敬
発行所	松江市学園南2丁目3番11号 有限会社 松陽印刷所